

A E 減水剤

ダーレックス®

F-1 シリーズ



# F-1 シリーズ

F-1シリーズは、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」に適合する良質なAE減水剤です。

近年のコンクリートの技術革新に伴って、コンクリートに対する品質要求は、より高耐久高強度へとその厳しさを増しています。

一方、良質な骨材の枯渇や廃コンクリートの再資源化など品質要求に逆行する大きな問題を抱え、混和剤に対する期待が益々高まっています。

F-1シリーズは、こうしたコンクリートに対する技術的要求の多様化に対応すべく開発された混和剤です。

F-1シリーズは、コンクリートの様々な用途や問題に対応する機能を有した混和剤です。

シリーズの中から用途や目的に応じて製品をお選び下さい。

## F-1 AE減水剤 標準形Ⅰ種

一般用・単位水量対策

リグニンスルホン酸化合物 密度 (g/cm<sup>3</sup>) 1.08 - 1.12

## F-1R AE減水剤 遅延形Ⅰ種

暑中コンクリート・長距離輸送対策

リグニンスルホン酸化合物 密度 (g/cm<sup>3</sup>) 1.08 - 1.12

## F-1P AE減水剤 標準形Ⅰ種

ポンパビリティ改善・打ち肌面の改善

リグニンスルホン酸化合物  
水溶性高分子 密度 (g/cm<sup>3</sup>) 1.08 - 1.12

## F-1H AE減水剤 標準形Ⅰ種

高減水性・高強度用

特殊高分子界面活性剤 密度 (g/cm<sup>3</sup>) 1.05 - 1.08

## 使用方法

- F-1シリーズの使用量の範囲は、結合材に対して0.5~1.5%（質量）です。標準使用量は結合材質量に対して1.0%です。本製品の性能は、使用材料や使用条件などにより異なる場合がありますので、目標とするコンクリートが得られる使用量を試し練りによって決定して下さい。特に、誤って通常使用量の3~4倍以上を添加しますと、コンクリートの凝結が相当遅延し、過度の空気を連行しますのでご注意下さい。
- F-1シリーズは、単位水量の一部として練混ぜ水に混合してご使用下さい。
- 所定の空気量が得られない場合は、弊社の空気量調整剤をご使用下さい。

## JIS A 6204による性能試験結果例

試験項目		AE減水剤 標準形 規定値	F-1	F-1P	F-1H
減水率 (%)		10以上	15	15	16
ブリーディング量の比 (%)		70以下	55	50	40
凝結時間の差 (分)	始発	-60~+90	+55	+55	+60
	終結	-60~+90	+60	+60	+65
圧縮強度比 (%)	材齢7日	110以上	130	131	135
	材齢28日	110以上	123	123	127
長さ変化比 (%)		120以下	99	99	100
凍結融解に対する抵抗性 相対動弾性係数 (%)		60以上	93	93	93
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.02以下	0.00	0.00	0.00
全アルカリ量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.30以下	0.05	0.05	0.04

試験項目		AE減水剤 遅延形 規定値	F-1R
減水率 (%)		10以上	15
ブリーディング量の比 (%)		70以下	55
凝結時間の差 (分)	始発	+60~+210	+110
	終結	0~+210	+115
圧縮強度比 (%)	材齢7日	110以上	128
	材齢28日	110以上	123
長さ変化比 (%)		120以下	99
凍結融解に対する抵抗性 相対動弾性係数 (%)		60以上	93
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.02以下	0.00
全アルカリ量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.30以下	0.06

塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値より算出

F-1、F-1P及びF-1Rの使用量：セメント質量に対して1.0%

F-1Hの使用量：セメント質量に対して0.9%

### 注意事項

- 雨水や異物が入らないように、また、凍結しないように保管して下さい。もし凍結した場合には、徐々に暖め、融解・攪拌後ご使用下さい。
- 取り扱いに際しては、ゴム手袋や保護メガネなどの保護具を着用して下さい。
- 皮膚についた場合は、速やかに清浄な水で十分に洗い流して下さい。必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った場合は、目をこすらず直ちに清浄な水で十分洗眼した後、医師の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ多量の清浄な水を飲ませた後、さらに吐かせ、医師の診断を受けて下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

詳細な情報が必要な場合には、弊社製品安全データシートをご参照下さい。



If we don't deliver value,  
we haven't delivered.

GRACE  
Contribution Products

クレスケミカル株式会社

<http://www.gracechemicals.co.jp>

本社	〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目9番6号	TEL:03-5405-2991 FAX:03-5405-2994
札幌営業所	〒060-0062 札幌市中央区南二条西2-18-1 NBF札幌南二条ビル4F	TEL:011-232-1761 FAX:011-222-2782
仙台営業所	〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区順町2-4-31	TEL:022-238-7388 FAX:022-238-7337
新潟営業所	〒950-0087 新潟市東大通1-3-10 三井生命ビル5F	TEL:025-244-3296 FAX:025-241-6180
富山営業所	〒930-0004 富山市桜橋通り2-25 富山第一生命ビル7F	TEL:076-442-2036 FAX:076-441-8743
長野事務所	〒380-0813 長野市緑町1605-14 長野ダイヤモンドビル内	TEL:026-223-4413 FAX:026-227-9953
名古屋営業所	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-6-23 第三ビル11F	TEL:052-681-8002 FAX:052-662-1893
大阪営業所	〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-39 新阪急ビル10F	TEL:06-6348-1737 FAX:06-6348-1935
広島出張所	〒730-0029 広島市中区三川町2-10 愛媛ビル7F	TEL:082-249-2794 FAX:082-249-2784
四国出張所	〒790-0931 愛媛県松山市西石井1丁目9-27	TEL:089-969-7922 FAX:089-969-7923
福岡営業所	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5-35 福岡西園第一生命ビル6F	TEL:092-263-0842 FAX:092-263-0843
厚木工場 技術部	〒243-0807 神奈川県厚木市金田100番地	TEL:046-225-8877 FAX:046-221-7214